

文学館だより

平成28年 7月 1日
若山牧水記念文学館
TEL 68 - 9511

七月のあさくさの昼いとまばらにひとが歩めりわれがあゆめり

「秋風の歌」 収録

歌の意味

七月のとある昼下がりに。浅草の町を人がたいそうまばらに歩いている。
わたしも同じようにそこを歩いている。

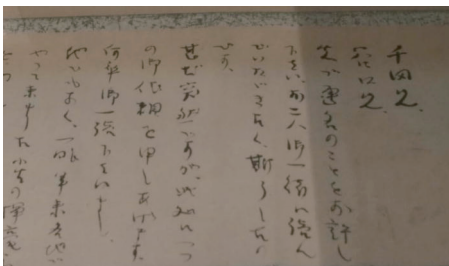
歌の背景

母の許しを受け上京した牧水は、長野から喜志子と生徒でもない旅人を迎え、
新たな生活を始めた。「創作」の復刊準備に忙しい中、友人小川水明と浅草に
出かけた時の歌である。夏の昼下がりのもの憂い様子を淡々と詠んでいる。
大正2年作。

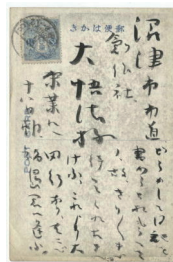
新規資料公開展 始まりました!!

先月号でお知らせした新規資料公開展が企画展示室において開催中です。
昨年までに新しく収蔵した掛軸、書簡他総計 98 点を一挙公開していきます。途中入れ替えをしますので
お見逃しのないよう、ご家族、お友だちみなさんでおいでください。
展示期間は前半を7月31日(日)までとし、後半を8月3日(水)～9月19日(月)までとします。

展示資料のごくごく一部ですが、
ご紹介します。



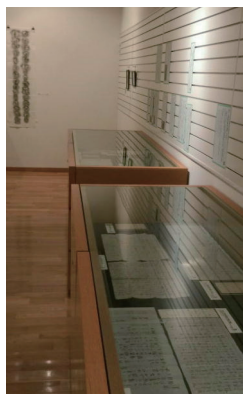
千田逎一郎氏、谷口盛氏あての書簡
北海道にて揮毫会開催を乞う内容
(大正14年)



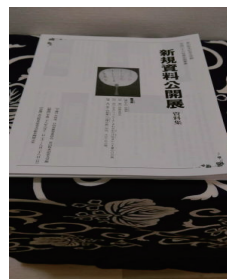
大悟法利雄氏あての絵はがき
原稿遅延を知らせる内容
(昭和2年)
○未発表の書簡です



若山喜志子色紙
ゆふ月の
おつるよりいやし
しづけくも
しら帆はいまし
しまがくれゆく



企画展示室の様子です
牧水資料以外に、若山健
海の名の入った貸金簿や牧水の友人中村柊花
の色紙、短冊、島崎藤村の詩「千曲川旅情の
うた」なども展示しています。



ご来館いただいた
お客様には、全資料
の内容、写真(一部)
を掲載した資料集を
お持ち帰りいただい
ております。

雅号の変遷 「牧水」を名のるまで

牧水の本名が「繁」^{しげる}であることは皆さんご承知のことと思います。さらに「牧水」の「牧」が母の名前「マキ」であること、「水」が坪谷の溪流の水、尾鈴の山をけぶらす雨からきていることも周知のとおりです。

今回は、牧水という雅号を使い始める以前の雅号についてご紹介します。

紅雲(延岡中2年)・・・大橋乙羽の紀行文集『増補 千山万水』奥付の前に「呈若山紅雲君」と記載。
 秋空(延岡中2年)・・・延岡中学校校友会雑誌第一号裏表紙に「若山秋空」と署名、「秋空」検印押印。
 桂露(延岡中3年)・・・級友ながら先輩である大見桂嵐を真似たものであろう。
 雨山(延岡中3年) } 山深い坪谷川溪谷に降るにわか雨やその中にたたずむ山の姿が好きで使用。
 白雨(延岡中4年) }
 野百合(延岡中5年) 当時の新派歌壇において百合は流行の花で、牧水も好きだったので使用。
 そして牧水(延岡中5年)・・・当時最も愛していた二つから採り、その後定着して一生の号となる。

延岡へ移っても、その後上京しても、ずっと母を想いこ坪谷を忘れずに歌を読み続けた牧水。
 18歳からずっとこの名を愛し続けた牧水。私たち郷土の誇りですね。

参考文献 『若山牧水新研究』大悟法利雄 著

お知らせ

○ 「平成 28 年度伊藤一彦短歌実作講座」開講

各人が詠んだ短歌を無記名で配布し、一首ずつ講座生全員で鑑賞した後、伊藤先生から講評をいただきます。会費として一回につき 500 円ご負担いただいております。

	日	時	会 場	内 容	備 考
第1回	5月11日(水)	13:30～15:30	牧水公園ふるさとの家	講 演	終了
第2回	6月22日(水)	13:30～15:30	日向市中央公民館	実作講座	終了
第3回	8月17日(水)	13:30～15:30	日向市中央公民館	実作講座	
第4回	10月19日(水)	13:30～15:30	牧水公園ふるさとの家	実作講座	
第5回	11月16日(水)	13:30～15:30	日向市中央公民館	実作講座	

興味のある方は、若山牧水記念文学館までお問い合わせください。

○ 「第六回 青の國若山牧水短歌大会」作品募集中

【一般の部】

- 〈自由題〉 一人1首、 題は自由です。
- 〈題 詠〉「白」 一人1首、 必ず「白」の文字を使って詠んでください。
- ※ いずれか1首でもかまいません。

【小学生の部・中学生の部・高校生の部】

- 県内の児童生徒が対象で、題は自由です。
 - 個人で応募してもかまいませんが、学校がまとめて応募されると思います。
- 8月10日(水)応募〆切です。 詳細は若山牧水記念文学館までお問い合わせください。

○ 地域の方から作品をお借りしています

文学館が安らいでいます(^^)



押し花アート
大野富久美さん
(坪谷)



小物入れ
富山トキ子さん
(坪谷)